小学校　特別活動　学級活動（１）の学習過程　（例）

学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画

全員で協力して楽しく豊かな学級や学校生活にするために、取り組みたいこと、つくってみたいこと、解決したいことなどの課題を取り上げる。

事前の活動

①問題の発見・確認

生活上の諸問題から課題を見いだし、学級全員で「議題」を決定する。

□　話合いの充実を図るために計画委員会を生かした事前指導も考えられます。
①問題の発見
②議題の選定（計画委員会）
③議題の決定（学級全員）
④活動計画の作成（計画委員会・提案者）
⑤問題の意識化
※教師の適切な指導が大切です。

本時の活動・話合い活動

②解決方法等の話合い

内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くらべ合ったりしながら話し合う。

③解決方法の決定

意見の違いや多様性を認め合い、折り合いをつけるなど集団としての考えをまとめたり決めたりして「合意形成」を図る。

□　議題について「提案理由」を基に一人一人の思いや願いを大切にしながら意見を出し合うようにしましょう。
□　出し合った意見の共通点や相違点を確認したり、分類したり、共通の視点をもってくらべ合ったりするようにしましょう。
□　よりよいものを選んだり、意見の違いや多様性を生かしたりして学級としての考えをまとめたり決めたりして合意形成を図るようにしましょう。

事後の活動

④決めたことの実践

決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いの良さを生かして協働したりして実践する。

⑤振り返り

一連の実践の成果や課題を振り返り、結果を分析し成長を実感したり、次の課題解決に生かしたりする。

□　児童が自分たちで決めたことを全員で協力し合って実践できるように場や時間等の確保をしましょう。
□　一連の活動を振り返り、次の課題解決へつなげていくことまでを含んだ活動を意図して設定しましょう。

次の課題解決へ

【参考資料】・小学校学習指導要領解説　特別活動編　（文部科学省）
・特別活動指導資料　みんなで,よりよい学級・学校生活をつくる特別活動　小学校編　（国立教育政策研究所）